



2025年9月期 第1四半期 決算説明資料



# 01

## 第1四半期の概要

2024年10月～2024年12月

## 連結

Eコマース事業の伸長とその他事業の赤字縮小により大幅増益  
前期に実施したバリューサイクルの連結除外により売上高は減

	実績		YoY	
				バリューサイクルを除いた 場合
流通総額	288	億円	+0.2 %	+16.9 %
売上高	46	億円	▲40.9 %	+25.1 %
営業利益	6.0	億円	+1136.8 %	+263.5 %

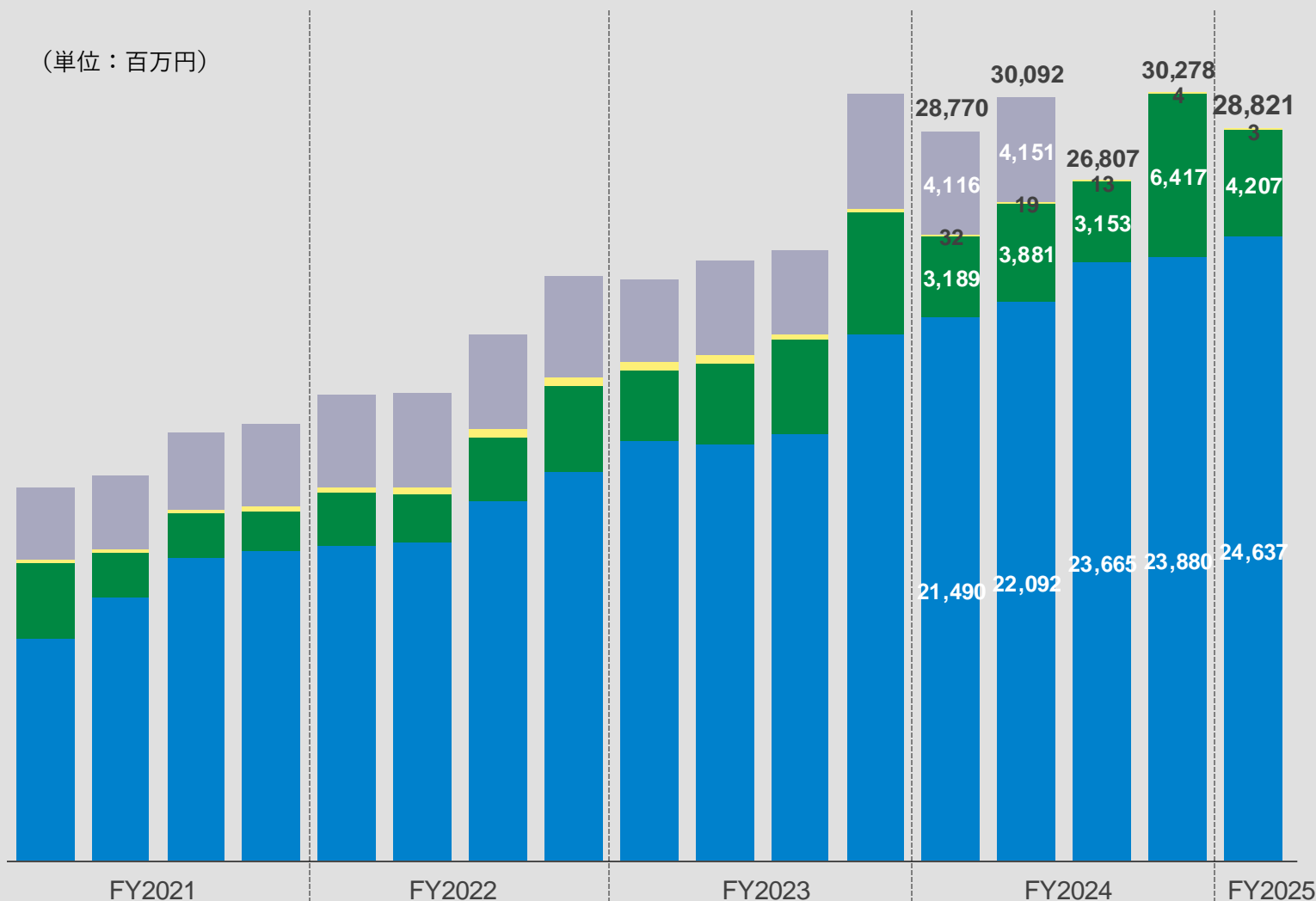
## Eコマース事業

グローバルコマースの成長により増益  
エンターテインメントも黒字化し利益貢献

	実績		YoY	
				バリューサイクルを除いた 場合
流通総額	288	億円	+0.1 %	+16.8 %
売上高	46	億円	▲41.4 %	+24.2 %
セグメント利益	10.3	億円	+37.9 %	+19.2 %

# エンターテインメントがYoYで大きく伸長 グローバルコマースも二桁成長を続け四半期過去最高の流通

(単位：百万円)



連結

**YoY +0.2%**

(バリューサイクル除く：16.9%)

その他事業

**YoY ▲88.0%**

前期に実施した事業の見直しにより減少

エンターテインメント

**YoY +31.9%**

Groobee導入アーティストのライブイベントの開催によりグッズ販売が好調に推移

グローバルコマース

**YoY +14.6%**

Buyeeが堅調に推移するとともに、クロスプラットフォーム事業が大きく伸長

バリューサイクル

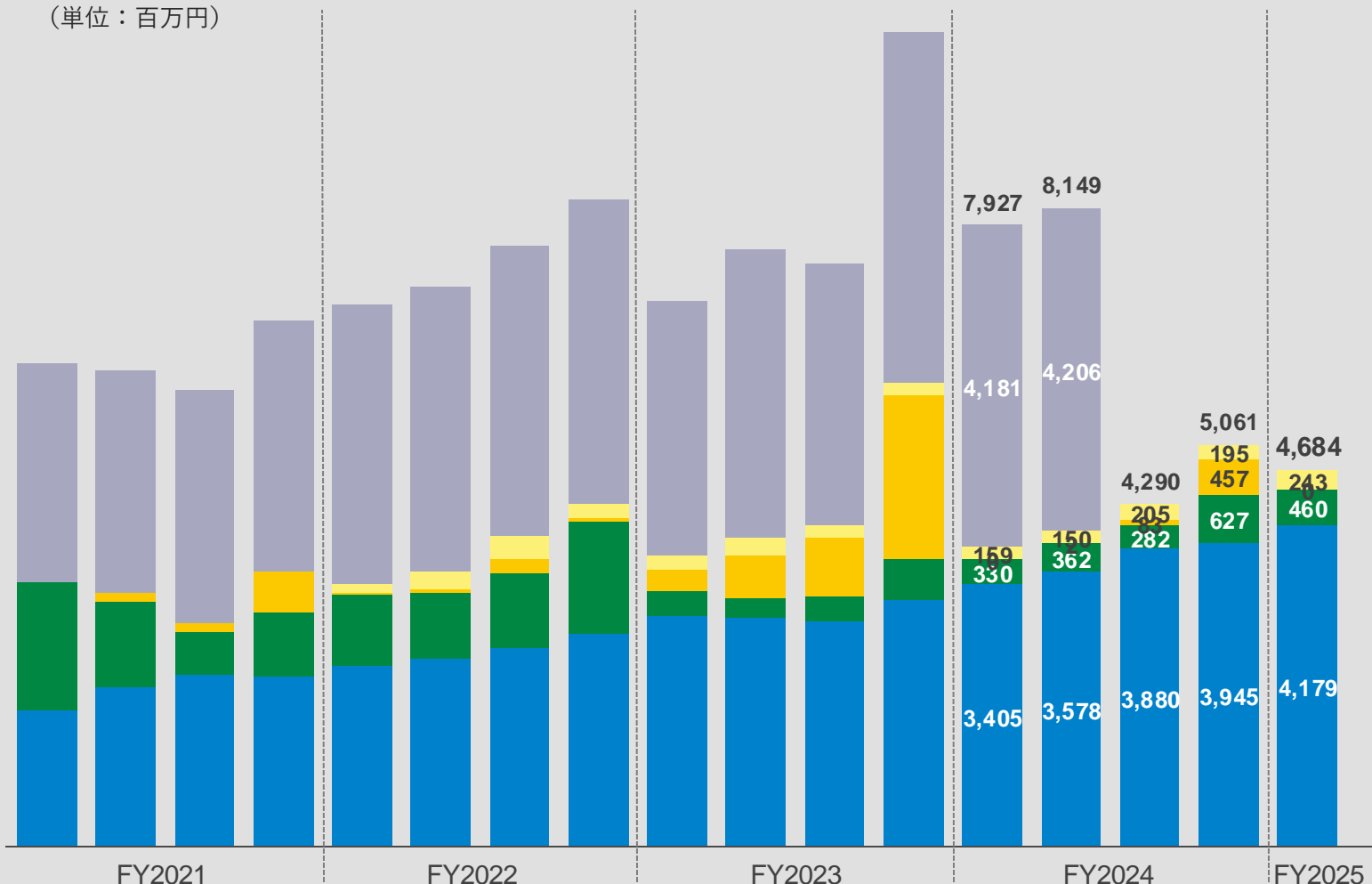
※ 流通総額はグループ各社の商品等の流通額を合算した金額です。商品代金を売上高に計上している事業については「売上高」を流通額として、手数料のみを売上高に計上している事業については、「商品代金・送料・手数料・消費税」を流通額として取扱い、合算した金額を流通総額としております。

※ FY2022の数値は、FY2023に実施したセグメント区分の変更を反映させて表示しております。

※ FY2024の数値は、FY2025に実施したクロスプラットフォーム事業のグローバルコマースセグメントへの区分変更を反映させて表示しております。

# グローバルコマース、エンターテインメントが順調に推移 バリューサイクルを除くとYoY25.1%増

(単位：百万円)



連結

YoY ▲40.9%

その他事業

YoY +52.3%

越境HR支援事業の成長に伴い伸長

インキュベーション

投資売却を実施せず

エンターテインメント

YoY +39.5%

Groobee導入アーティストのライブイベントの開催によりグッズ販売が好調に推移

グローバルコマース

YoY +22.7%

Buyeeが堅調に推移するとともに、クロスプラットフォーム事業が大きく伸長

バリューサイクル

※ FY2022の数値は、FY2023に実施したセグメント区分の変更を反映させて表示しております。

※ FY2024の数値は、FY2025に実施したクロスプラットフォーム事業のグローバルコマースセグメントへの区分変更を反映させて表示しております。

# 投資売却を実施せずQoQで販管費率が上昇

（単位：百万円）

連結販管費率 Eコマース事業販管費率

（バリューサイクル除きでの連結販管費）

連結販管費

QoQ +7.0%

変動費

QoQ +87.7%

その他固定費

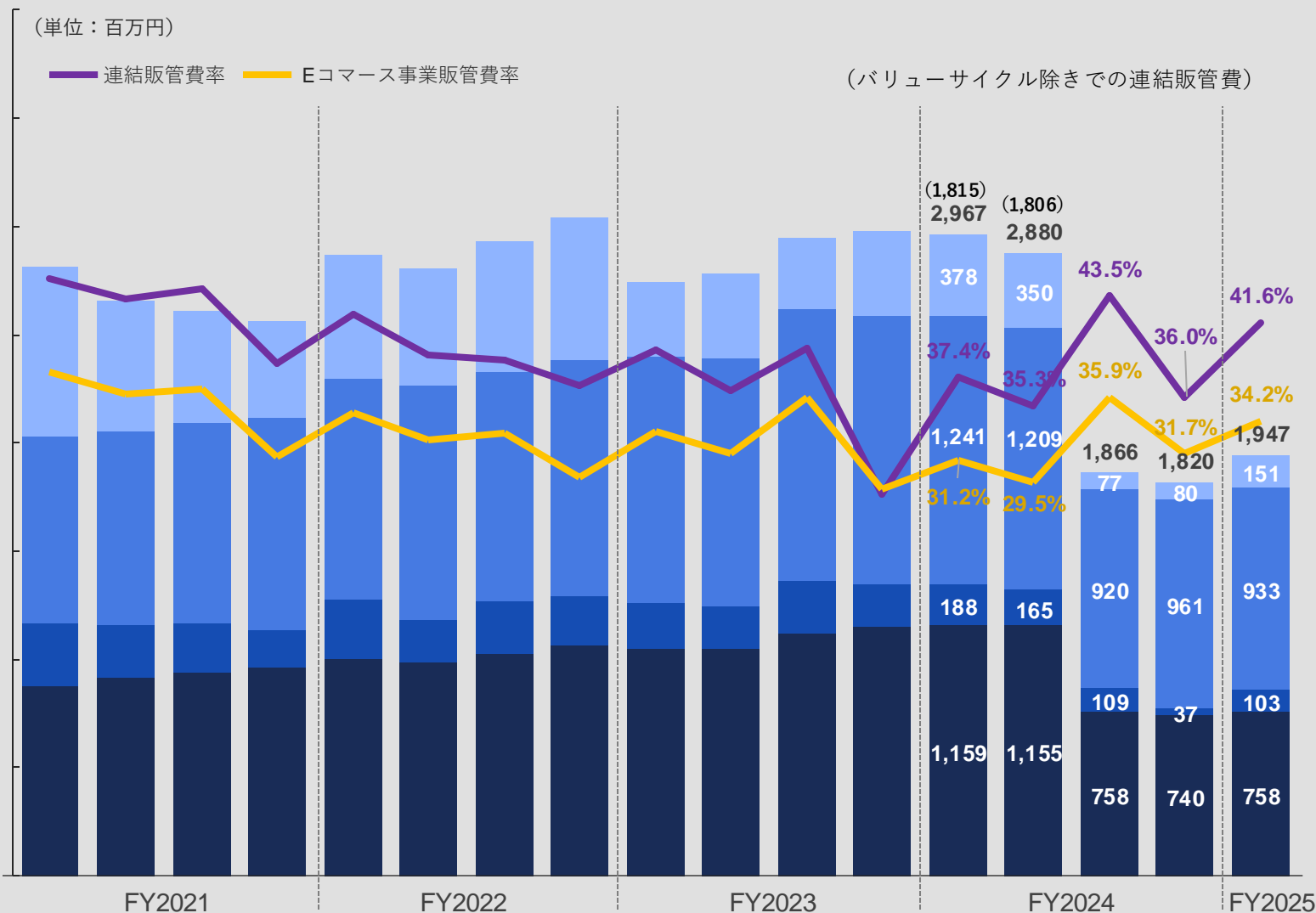
QoQ ▲2.9%

広宣費+販促費

QoQ +174.6%

人件費

QoQ +2.5%



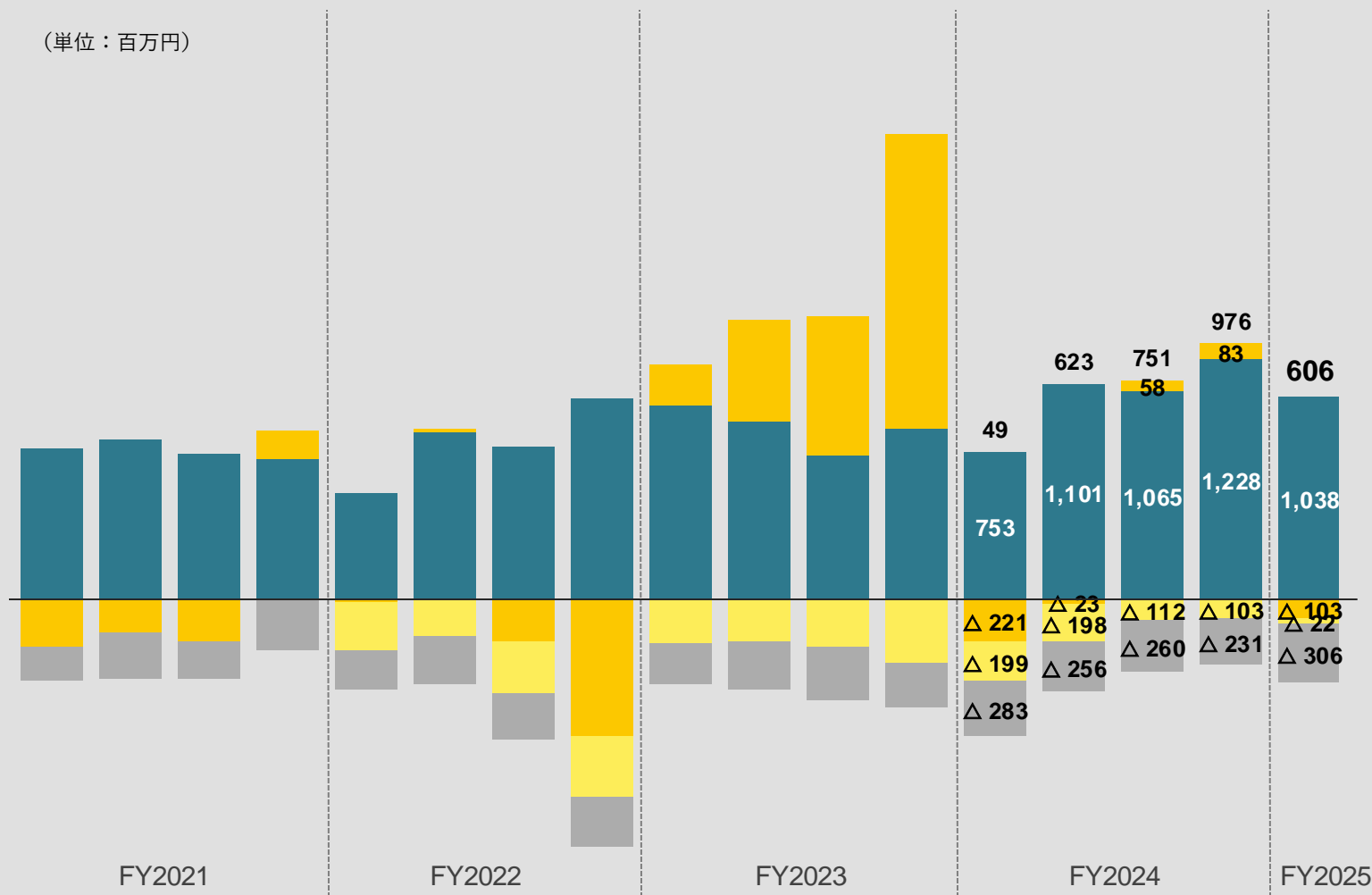
※ 賞与および賞与引当金は業績に応じて計上額が変動するため、人件費の増減に影響しないようその他固定費として表示しております。

※ FY2022の数値は、FY2023に実施したセグメント区分の変更を反映させて表示しております。

※ FY2024の数値は、FY2025に実施したクロスプラットフォーム事業のグローバルコマースセグメント（Eコマース事業）への区分変更を反映させて表示しております。

# Eコマース事業が営業利益面でも堅調に増加 その他事業の赤字幅が大きく縮小

(単位：百万円)



連結

**YoY +1136.8%**

Eコマース事業が順調に増加

Eコマース

**YoY +37.9%**

エンターテインメントの黒字化、グローバルコマースの堅調な推移により増益

インキュベーション

一部銘柄で減損・引当が発生

その他事業

前期に実施した事業の見直しにより赤字額が縮小

調整額 (本社費用)

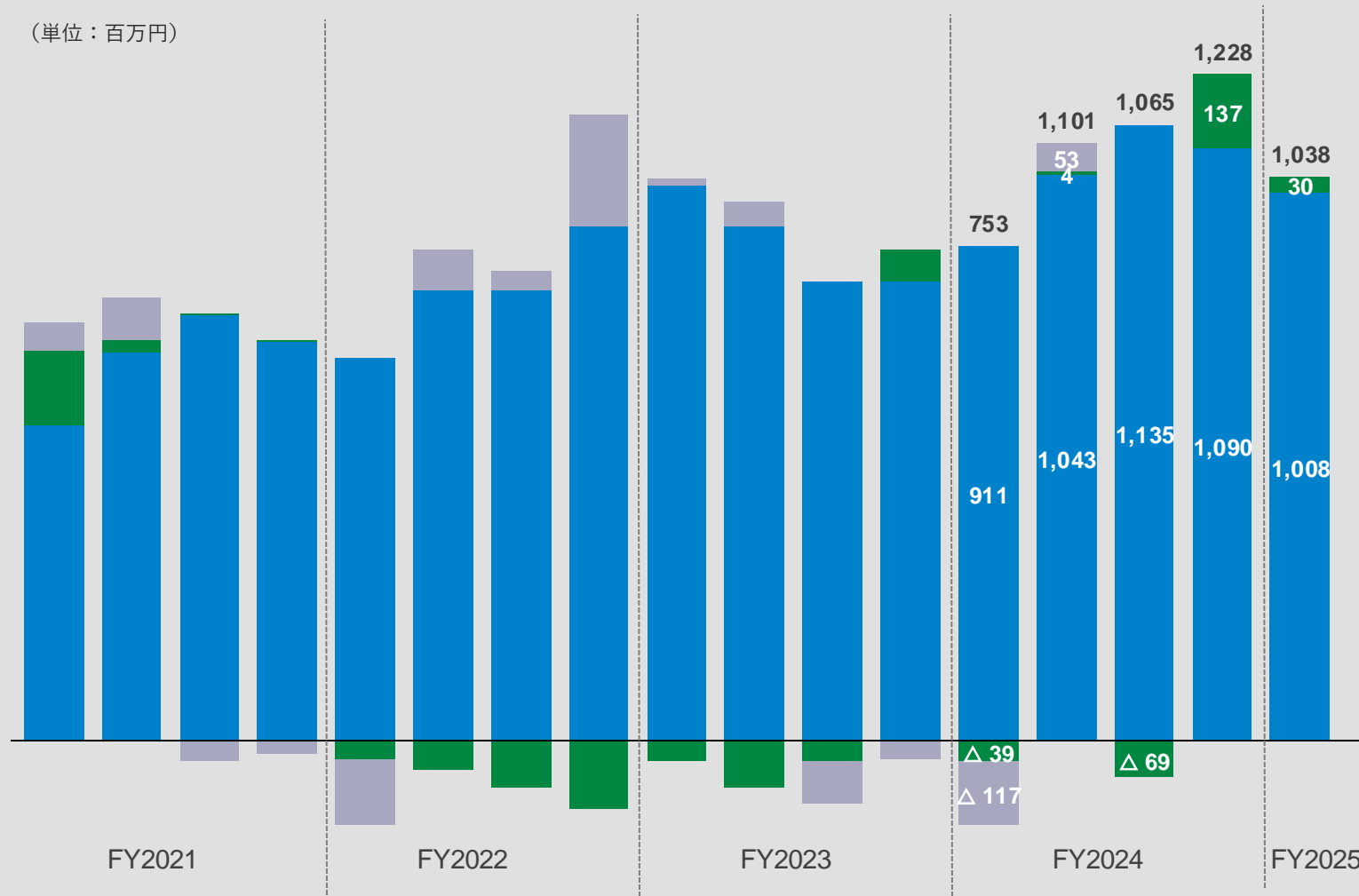
本社オフィス移転及び上場維持費用等の一時費用を計上

※ FY2022の数値は、FY2023に実施したセグメント区分の変更を反映させて表示しております。

※ FY2024の数値は、FY2025に実施したクロスプラットフォーム事業のグローバルコマースセグメントへの区分変更を反映させて表示しております。

## エンターテインメントの黒字化によりYoYで増益

(単位：百万円)



Eコマース

YoY +37.9%

エンターテインメント

YoY で黒転

大型イベントの開催により  
グッズ販売が好調に推移

グローバルコマース

YoY +10.7%

収益性が低下するも、  
流通総額の増加により  
YoYでの増益を継続

バリューサイクル

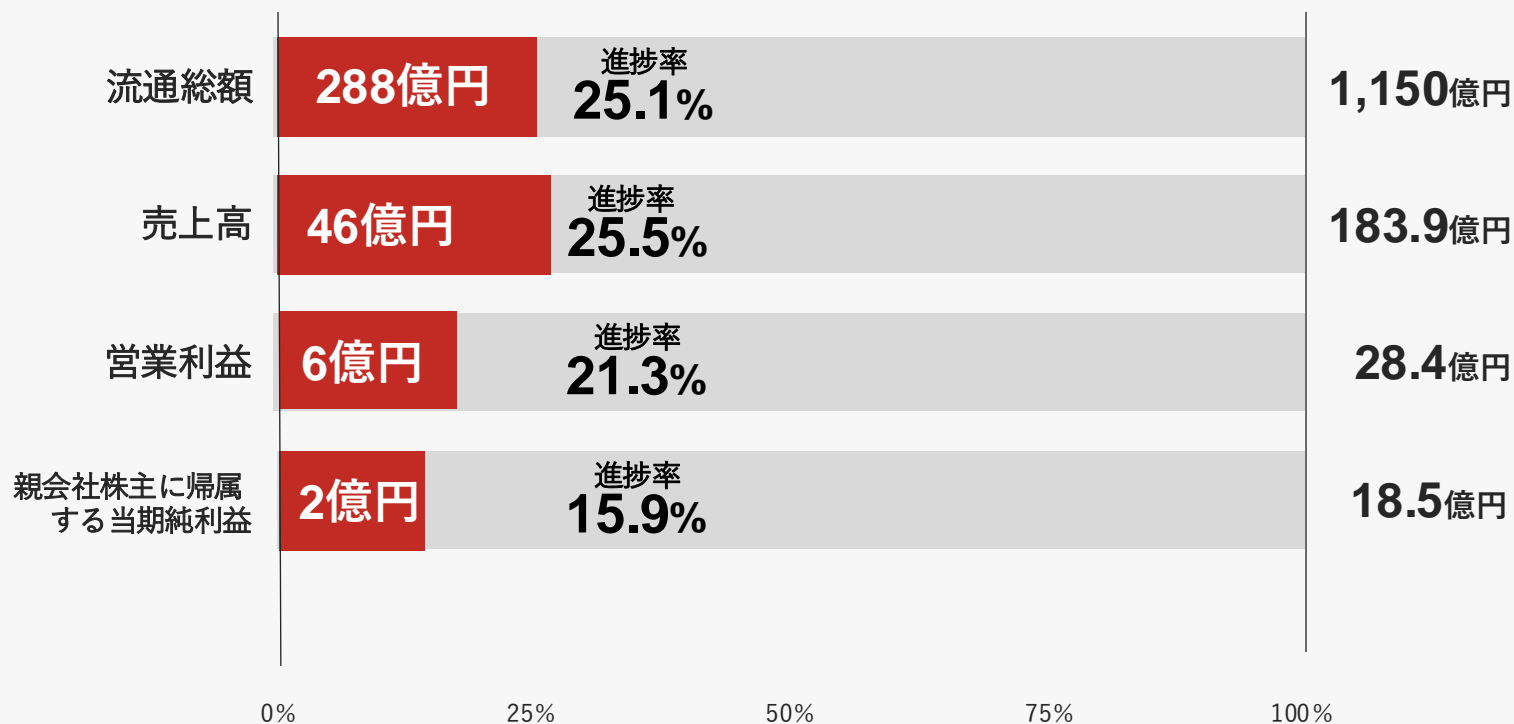
※ FY2022の数値は、FY2023に実施したセグメント区分の変更を反映させて表示しております。

※ FY2024の数値は、FY2025に実施したクロスプラットフォーム事業のグローバルコマースセグメントへの区分変更を反映させて表示しております。

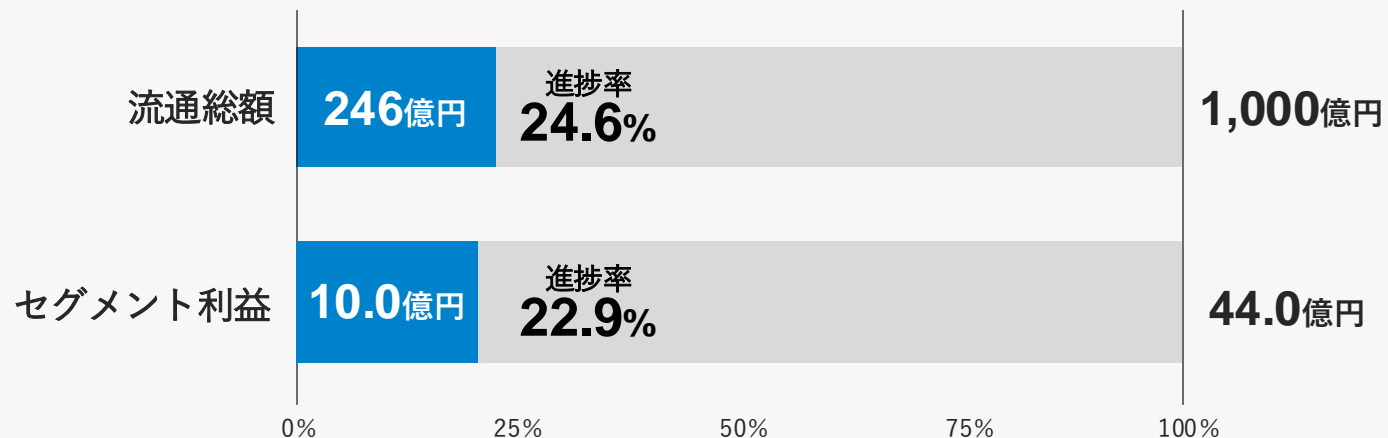


## 連結

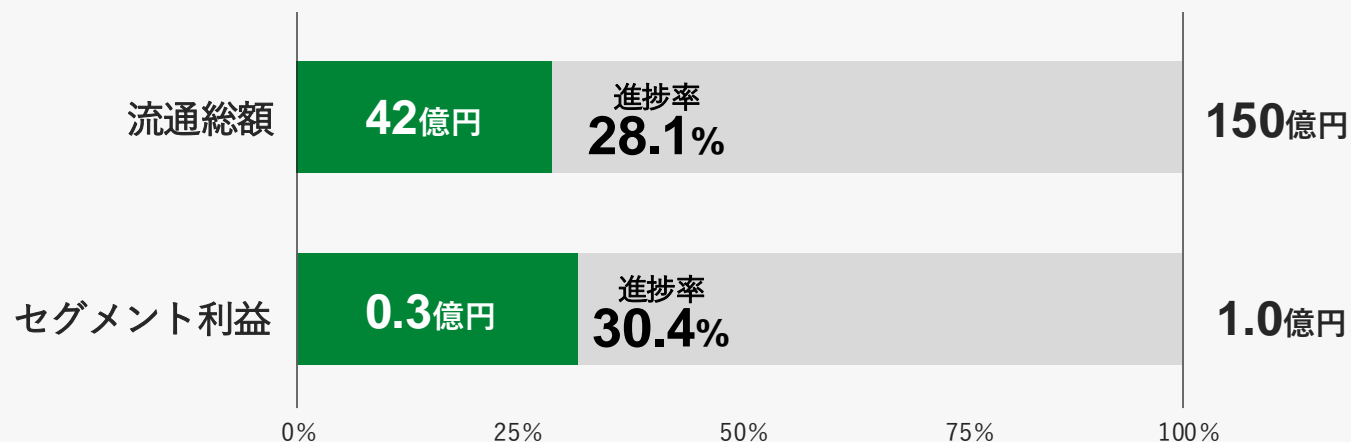
流通総額、売上高は順調に推移、投資事業の赤字により営業利益の進捗に遅れ  
TOB関連のアドバイザー費用等を営業外費用に計上し、純利益に影響




## グローバルコマース



## エンターテインメント





# 02

補足資料

## 連結

中期目標：連結営業利益 **50億円**

※投資損益は除く

FY2025 (業績予想)： **28.4億円**

- ・ 投資事業を除いた事業利益はFY2023の15.2億円からFY2024は25.0億円に順調に増加

## Eコマース

## 流通総額

- FY2024(実績)： **1,159億円**  
(バリューサイクル事業を除くと1,076億円)
- FY2025(業績予想)： **1,150億円**

## セグメント利益

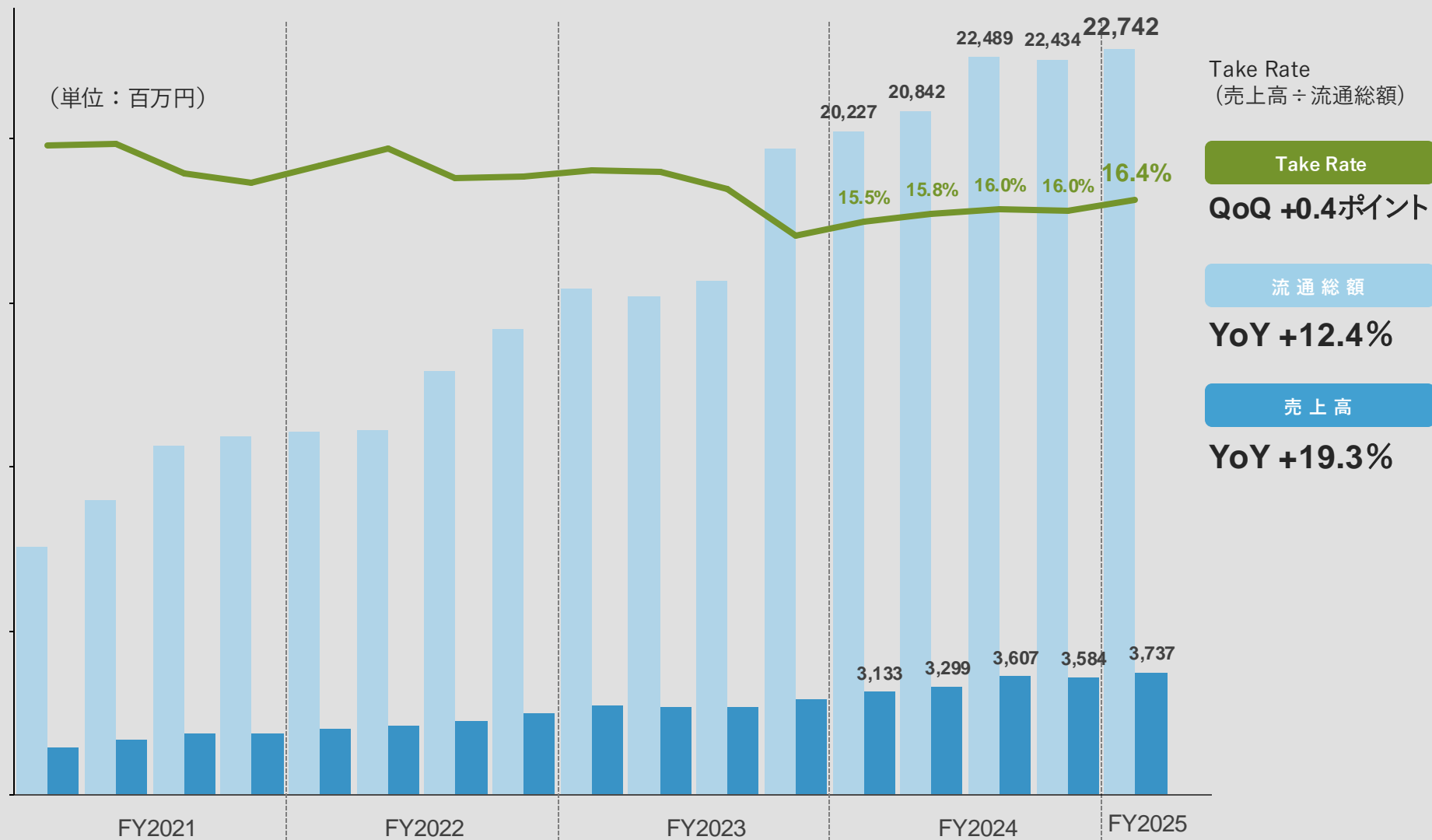
- FY2024(実績)： **41.4億円**
- FY2025(業績予想)： **45.0億円**

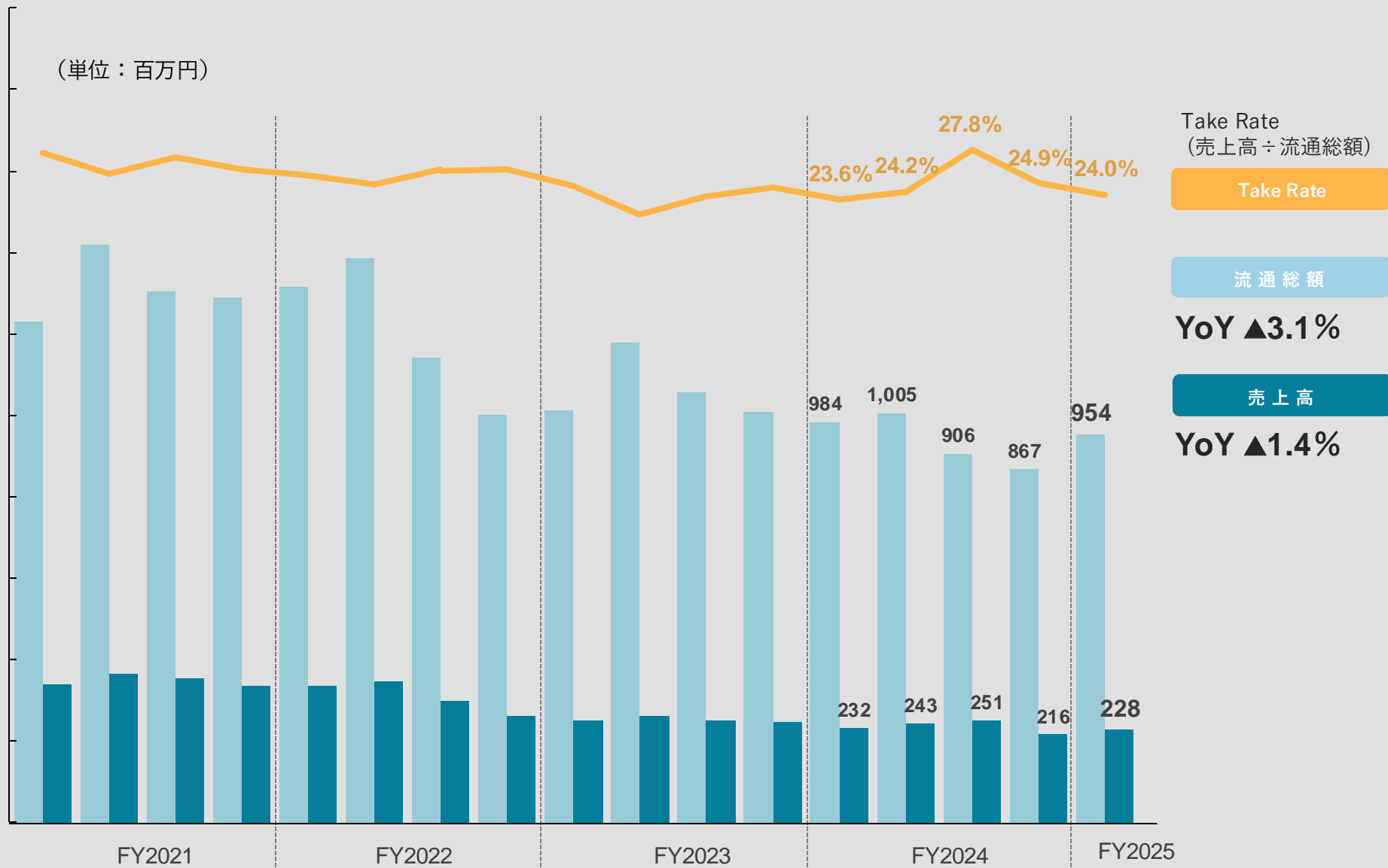
- ・ 主力サービスBuyeeと転送コムを中心に累計国内企業支援数が6,000社を突破し国内で圧倒的なポジション
- ・ バリューサイクルを除いてもFY2024の流通総額は1,000億円を突破

## インキュベーション

引当後簿価： **34億円**  
2024年12月末時点評価額： **77億円**  
2024年12月末時点出資先数：国内 **15**社、海外 **42**社

- ・ 売却計画に基づき減損・引当分は相殺見込み



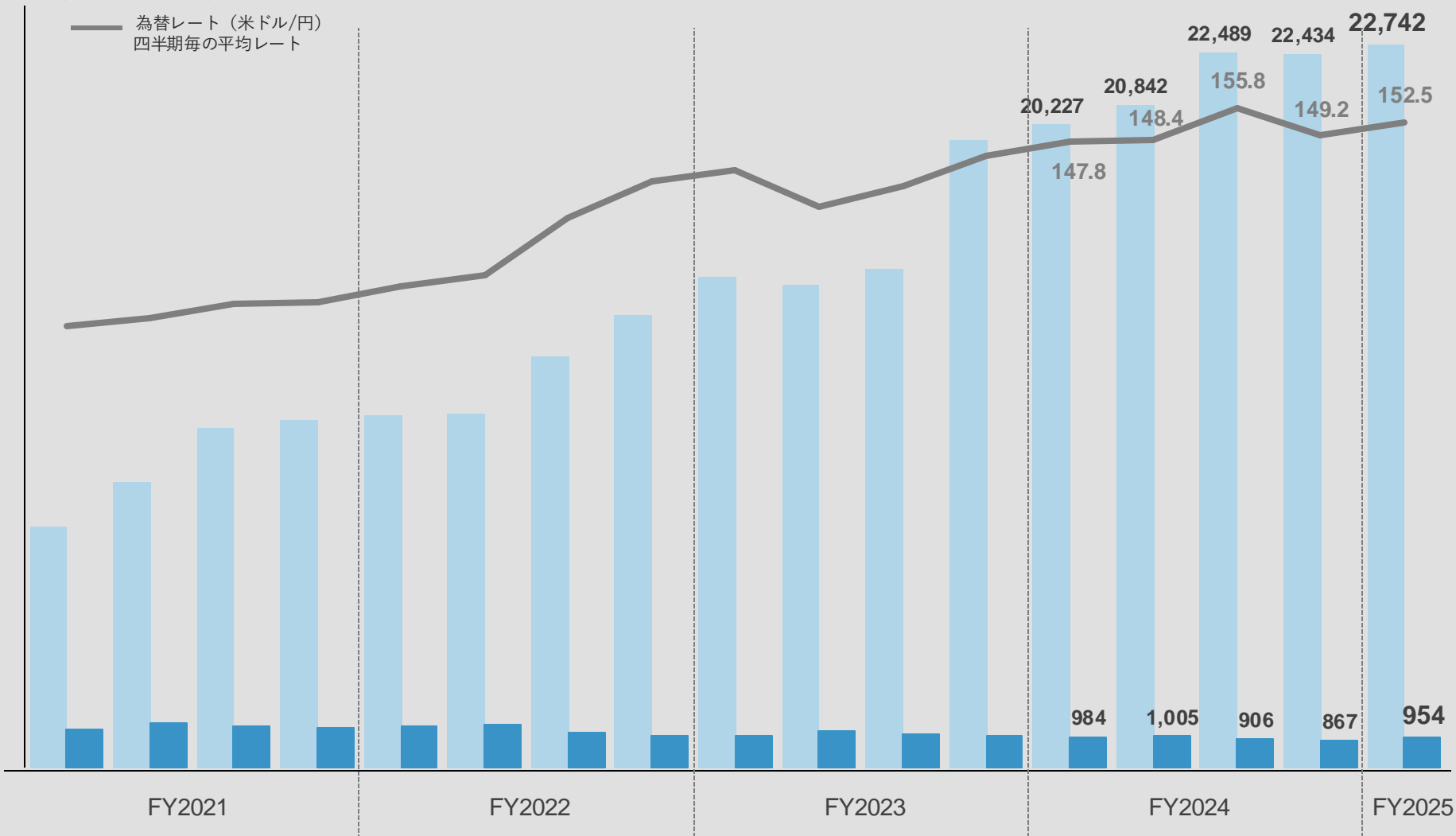


From Japan

To Japan

(単位：百万円)

— 為替レート (米ドル/円)  
— 四半期毎の平均レート



## FY2025 連結での業績予想

Eコマース事業の全セグメントで利益成長を目指す

	FY2024 実績	FY2025 業績予想	YoY (バリューサイクルを 除いたYoY)
流通総額	1,159 億円	1,150 億円	▲0.8% (+6.8%)
売上高	254.2 億円	183.9 億円	▲27.7% (+7.9%)
営業利益	24.0 億円	28.4 億円	+18.3% (+15.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	13.5 億円	18.5 億円	+36.9%



## FY2025計画の前提について

## グローバルコマース

- FY2024までその他事業に属していた「クロスプラットフォーム事業」をグローバルコマースに移管
- グローバルコマースセグメント単体で流通総額1,000億円を目指す
- 新規事業の取り込みも含め、セグメント利益の伸長を継続する
- 為替の前提は140円～145円のレンジで想定

	FY2024 実績	FY2025 利益計画	YoY
流通総額	911 億円	1,000 億円	+9.7%
セグメント利益	41.8 億円	44.0 億円	+5.2%

※FY2024の実績については新セグメントに組み替えた数値になっております。

## FY2025計画の前提について

## エンターテインメント

- Groobee事業の安定運用の実現のためオペレーション改善
- 既存クライアントへのサービス拡充によりマネタイズポイントを増やし、収益性を改善
- ライセンス事業の成長により売上高増加

	FY2024 実績	FY2025 利益計画	YoY
流通総額	166 億円	150 億円	▲9.9%
セグメント利益	0.3 億円	1.0 億円	+209.6%

## FY2025計画の前提について

## その他事業

- ・ クロスプラットフォーム事業のグローバルコマースへの移管により流通総額および売上高が減少
- ・ Buyeeにおいて人気の高い国内エンターテインメントコンテンツの海外展開を実現する事業への取り組みを強化

	FY2024 実績	FY2025 利益計画	YoY
流通総額	0.7 億円	0.5 億円	▲29.2%
セグメント利益	▲6.1 億円	▲3.5 億円	-

※FY2024の実績については新セグメントに組み替えた数値になっております。

2024年12月19日付「剰余金の配当（無配）に関するお知らせ」で開示しました通り、当社に対する公開買付けについて公表されていることを踏まえ、本公開買付けが成立することを条件として、2025 年 9 月期の期末配当を行わないことを決議しております。

	1株あたり配当金（円）			配当総額	配当性向
	第 2 四半期末	期末	合計		
FY2021	00円00銭	25円00銭	25円00銭	321百万円	46.5%
FY2022	00円00銭	25円00銭	25円00銭	309百万円	-
FY2023	00円00銭	27円00銭	27円00銭	325百万円	14.9%
FY2024	00円00銭	40円00銭	40円00銭	514百万円	36.0%
FY2025 （予想）	00円00銭	00円00銭	00円00銭	-	-

## 自己株式の取得実績について

FY2025 1Q末時点

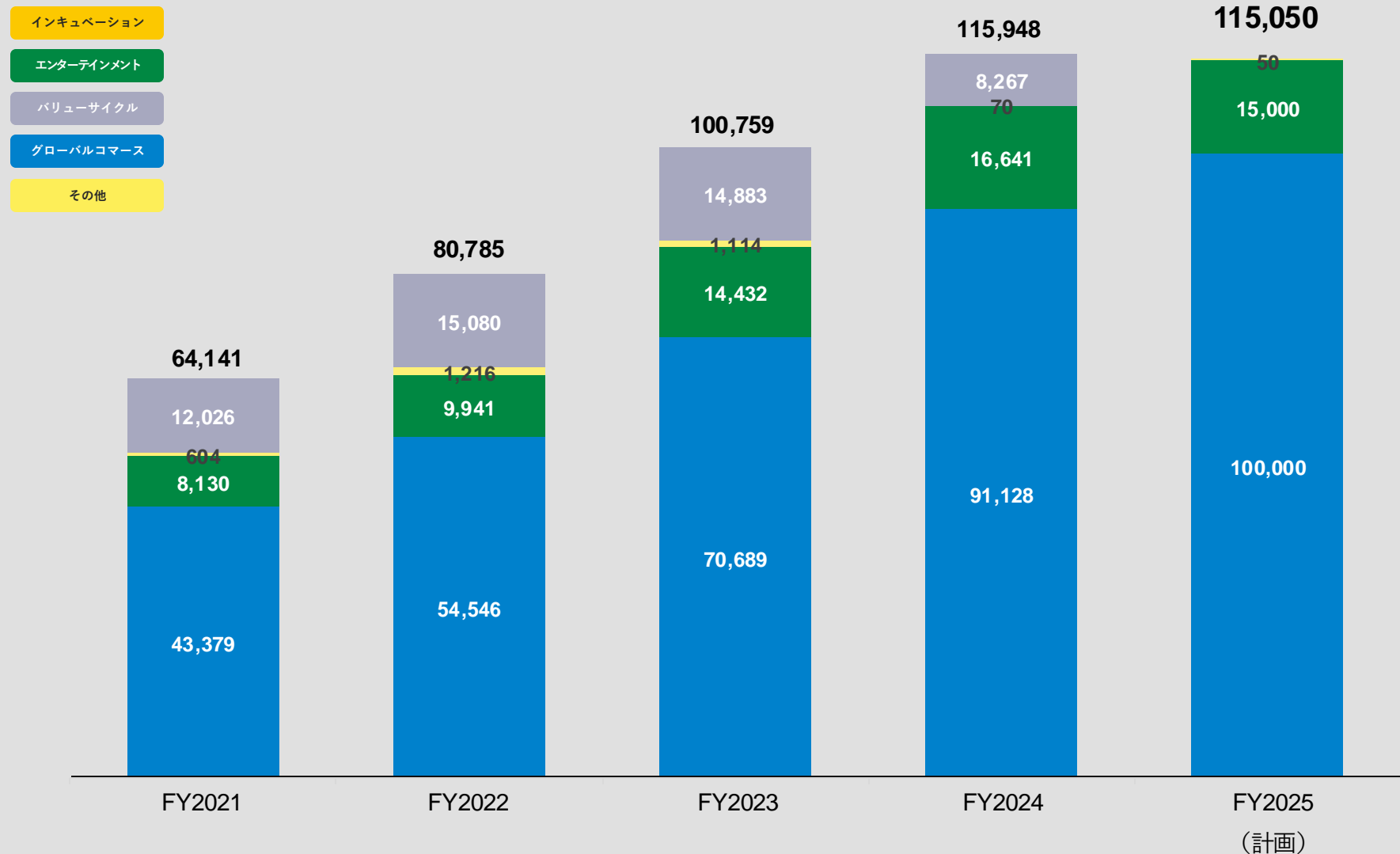
潜在株式数（ストックオプション）： 564,860株

自己株式数： 725,462株

自己株式の取得	取得株数	発行済み株式数に 対する割合 (自己株除く)	取得総額	配当と合わせた 総還元性向
FY2020	37.3万株	2.9%	286百万円	28.5%
FY2021	22.4万株	1.8%	799百万円	162.3%
FY2022	49.9万株	4.1%	969百万円	-
FY2023	45.9万株	3.8%	793百万円	50.9%
FY2024	-	-	-	-

※FY2023の「発行済み株式数に対する割合」は自己株式消却後の数値となります。

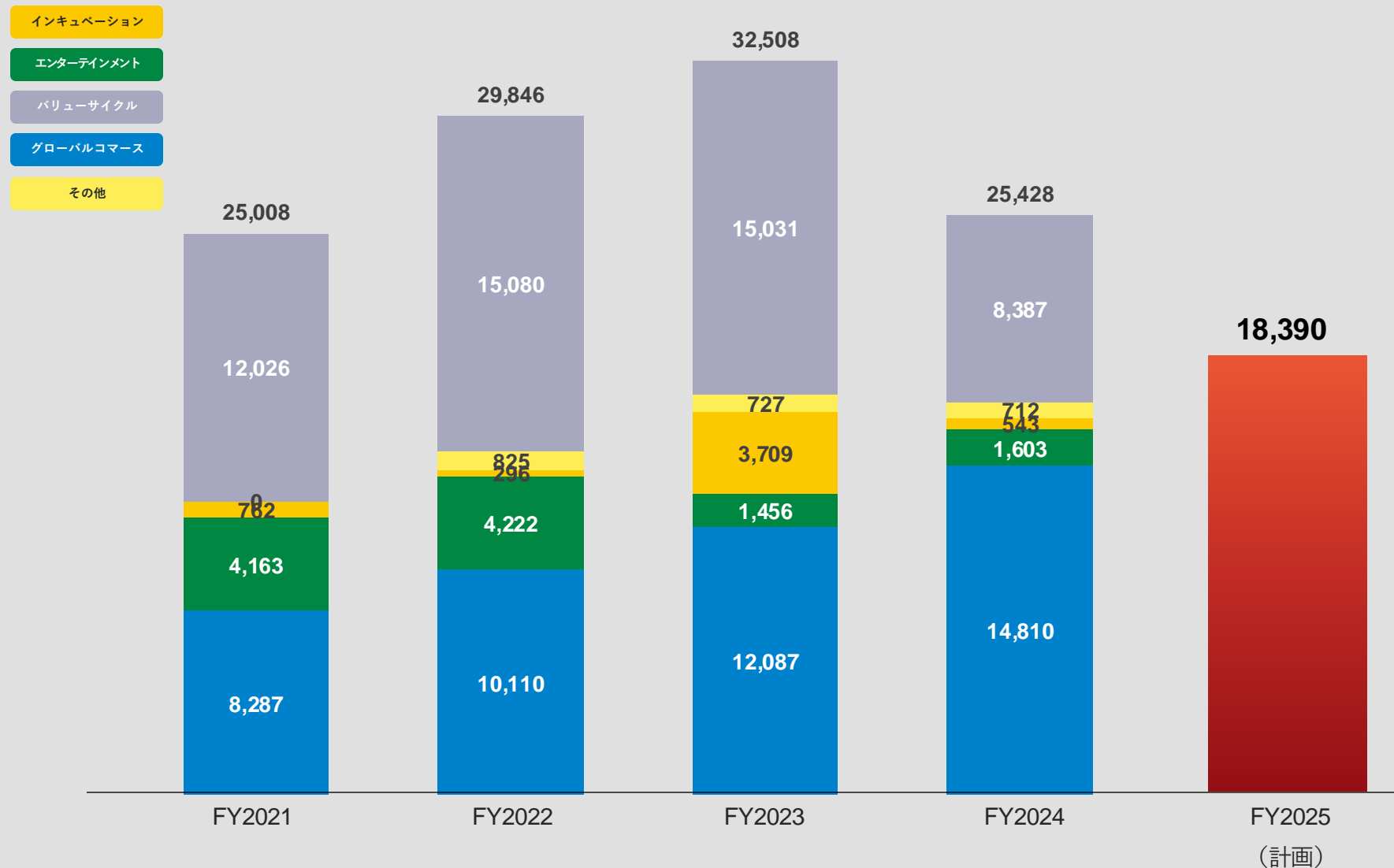
(単位：百万円)



※ FY2022の数値は、FY2023に実施したセグメント区分の変更を反映させて表示しております。

※ FY2024の数値は、FY2025に実施したクロスプラットフォーム事業のグローバルコマースセグメントへの区分変更を反映させて表示しております。

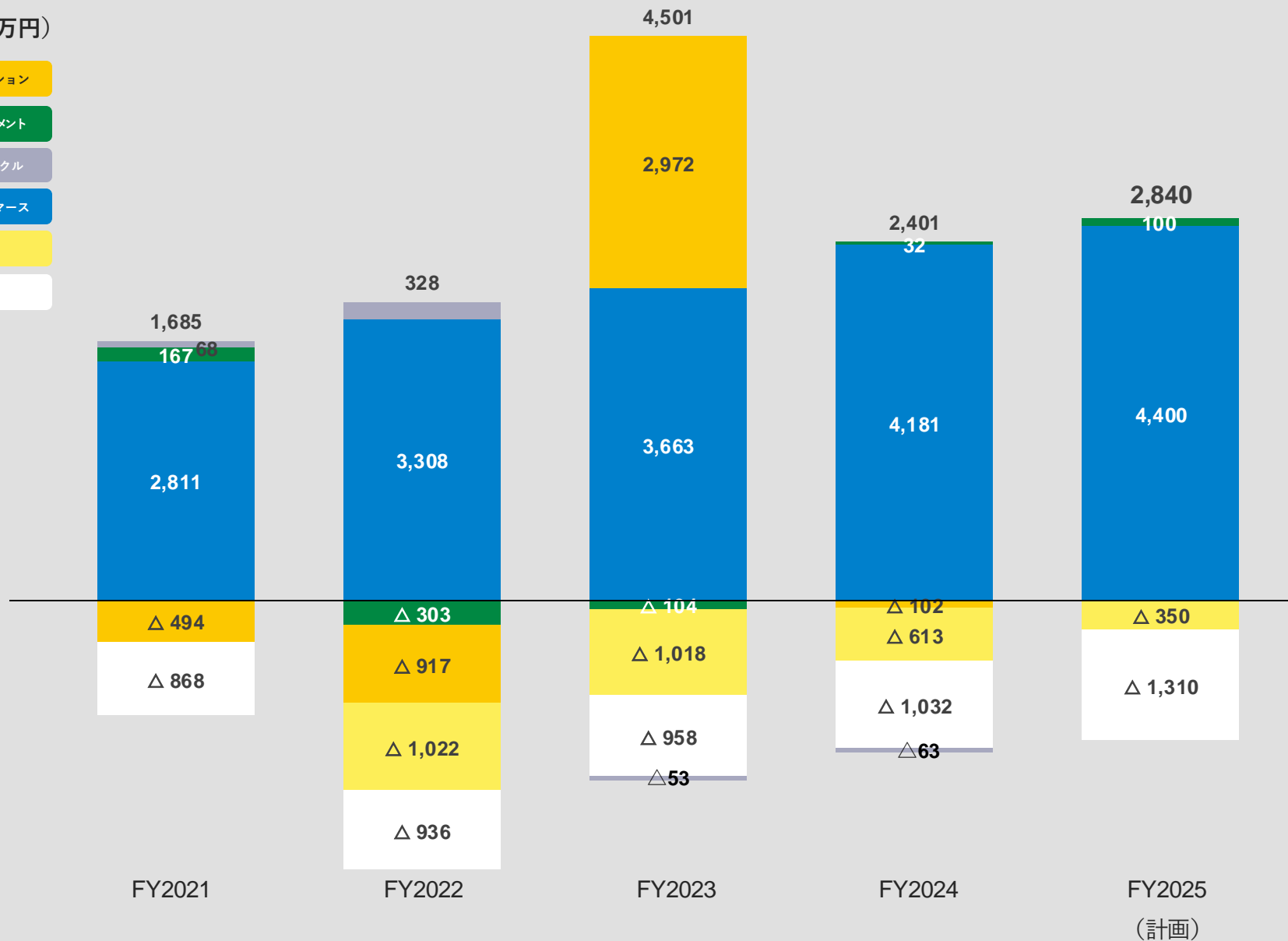
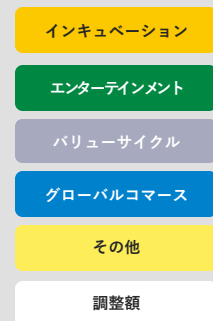
(単位：百万円)



※ FY2022の数値は、FY2023に実施したセグメント区分の変更を反映させて表示しております。

※ FY2024の数値は、FY2025に実施したクロスプラットフォーム事業のグローバルコマースセグメントへの区分変更を反映させて表示しております。

(単位：百万円)



※ FY2022の数値は、FY2023に実施したセグメント区分の変更を反映させて表示しております。

※ FY2024の数値は、FY2025に実施したクロスプラットフォーム事業のグローバルコマースセグメントへの区分変更を反映させて表示しております。



2024年12月末時点

出資地域 出資比率	新興国		その他
	インド	東南アジア・他	日本
10% 以上		トルコ フィリピン 韓国 (※)	
5~10%		ベトナム 	
0.5~5%		インドネシア  バングラデシュ (旧Sure Cash)	 Little Rooms (旧and)   (旧Artis)

(※) 投資有価証券として扱っております。

## Eコマース事業



## tenso

日本のECサイトの商品を海外ユーザーに発送代行する「転送コム」と翻訳、決済代行も行う購入サポートサービス「Buyee」を運営。



## ショップエアライン

世界最大のオークションサイトeBayとの提携により、世界中の商品を日本にないながら購入できる「セカイモン」を運営。



## FASBEE

グローバルファッションECサイト「FASBEE」を運営。日本のアパレル商品を海外消費者に販売。日本のアパレルブランドを世界に拡げることを目指す。



## BEENOS Entertainment

エンターテインメント産業のデジタルトランスフォーメーション（DX）とグローバル化を支援するサービス「Groobee」を運営。

## インキュベーション事業



## BEENOS Asia

新興国市場への投資及び統括の拠点とするシンガポール法人。



## BEENOS Partners

米国のスタートアップ企業に対する投資事業を展開。

## その他事業（新規事業）



## BeeCruise

BEENOSグループの強みである「経験値」「ネットワーク」「データの蓄積」とテクノロジーを駆使し、既存事業の成長の加速化と新規事業の開発を行う。



## BEENOS Travel

インバウンド事業を展開。



## BEENOS Marketing Asia

アジアにおけるマーケティング調査、展示会の企画・運営。



## BEENOS HR Link

SaaS型越境HRプラットフォーム「Linkus（リンクス）」を運営し、外国人雇用をテクノロジーで支援。

# 03

## 参考資料

## FY2024の取り組みとハイライト

### 気候変動対応と人的資本関連の目標設定を行なった

2023年10月：CDP回答

---

2023年12月：FY2023の温室効果ガス排出をグループすべてにおいて算出

---

2024年1月：取締役会に向けた活動レポート

---

2024年3月：非化石証書を購入。BEENOSグループの直接使用電力をすべて再エネ化

---

2024年8月：人的資本に関連する2つの目標を承認（11月開示）

---

---

---

## マテリアリティの特定

ステークホルダーへのヒアリングを行い、重要な8つの課題を特定

E 環境	 	資源の効率的使用
		気候変動の対策
S 社会		消費者課題の解決とイノベーション
		アジア地域の発展
	 	働きがいのある組織づくり
		組織におけるダイバーシティの確保
G ガバナンス		データ保護とサイバーセキュリティ
		法令遵守（グローバル）

## 環境(E)関連データ

	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024
GHG総排出量 (tCO <sub>2</sub> e)	35,855	59,362	66,276	65,483
SCOPE1 直接排出 (tCO <sub>2</sub> e)	0	0	0	0
SCOPE2 間接排出 (tCO <sub>2</sub> e)	442	549	480	101
SCOPE3 (tCO <sub>2</sub> e)	35,414	58,813	65,796	65,382
リユース削減効果(アパレルのみ /tCO <sub>2</sub> e)	7,560	9,592	12,365	8,195

※SCOPE1と2と3の算定対象はBEENOSグループ全社（FY2022より）

※SCOPE2はオフィス・店舗・倉庫における電気使用にかかる二酸化炭素排出量

※SCOPE3の算定対象はFY2021までBEENOS株式会社、tenso株式会社、株式会社デファクトスタンダードの3社。FY2022よりBEENOSグループ全社が対象

※FY2024より期中に譲渡をしたバリューサイクルセグメントの排出を除いて計算

※SCOPE3のカテゴリ15「投資」のみ算定除外

## 社会(S)関連データ

	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024
従業員数	322	364	504	848 <sub>(※1)</sub>	943	425 <sub>(※1)</sub>
正社員比率 (%)	51.9%	54.1%	60.1%	38.7%	38.3%	62.6%
非正社員比率 (%)	48.1%	45.9%	39.9%	61.3%	61.7%	37.4%
正社員の離職率	15.7%	8.8%	6.5%	8.4%	9.8%	9.5%
障がい者雇用比率	0.9%	1.1%	1.2%	1.6%	1.4%	2.4%
外国籍従業員数	45	62	69	86	115	95
海外拠点勤務の従業員数	80	86	117	110	89	87
新卒採用人数	7	11	8	10	17	9
有給取得率	67.6%	54.7%	53.9%	68.7%	54.9%	73.8%
男性の育休取得率	25%	14%	0%	20%	13%	27%
社員サーベイ解答率 (年平均) (※2)	93%	97%	97%	96%	98%	95%
内、エンゲージメントスコア (※2)	69	70	72	72	72	72
内、健康スコア(※2)	60	62	64	65	66	66

※1 FY2024中に発生したバリューサイクル部門の事業譲渡により減少

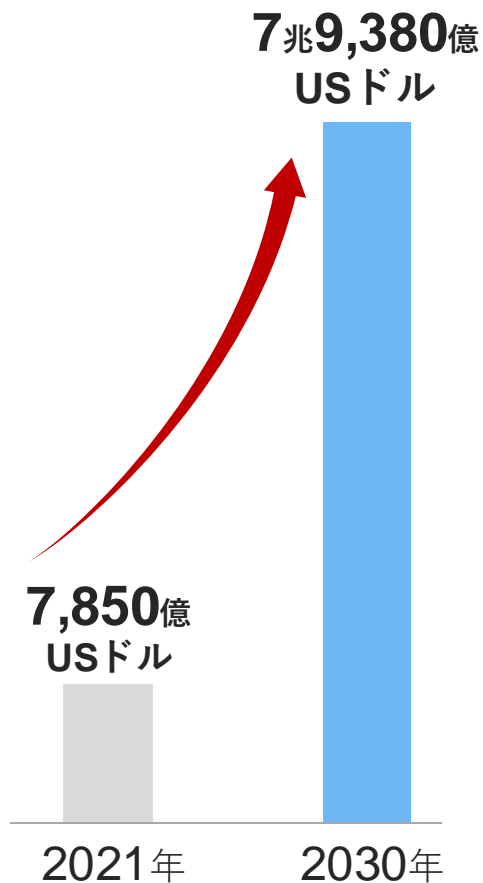
※2 当社グループでは全社員向けに外部のエンゲージメントサーベイを導入し、毎月実施しています。

## 社会(S)関連データ

	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024
正社員における女性比率	34.9%	35.9%	39.9%	40.6%	40.6%	42.5%
管理職における女性比率	13.3%	11.4%	16.0%	15.8%	15.8%	22.0%
男性社員平均給与（月額/円）	451,483	474,201	473,494	502,992	516,802	571,215
女性社員平均給与（月額/円）	346,070	365,980	365,910	408,500	421,497	445,894
女性給与の男性給与比	76.7%	77.2%	77.3%	81.2%	81.6%	78.1%
正社員の平均勤続年数	3年6ヶ月	3年10ヶ月	3年4ヶ月	3年7ヶ月	4年2ヶ月	5年1ヵ月
男性	3年4ヶ月	3年8ヶ月	3年3ヶ月	3年7ヶ月	4年2ヶ月	5年2ヵ月
女性	3年10ヶ月	4年4ヶ月	3年5ヶ月	3年7ヶ月	4年2ヶ月	5年1ヵ月
正社員の平均年齢	34歳	34歳	34歳	34歳	35歳	35歳
男性	34歳	34歳	35歳	35歳	35歳	35歳
女性	34歳	34歳	34歳	34歳	35歳	34歳

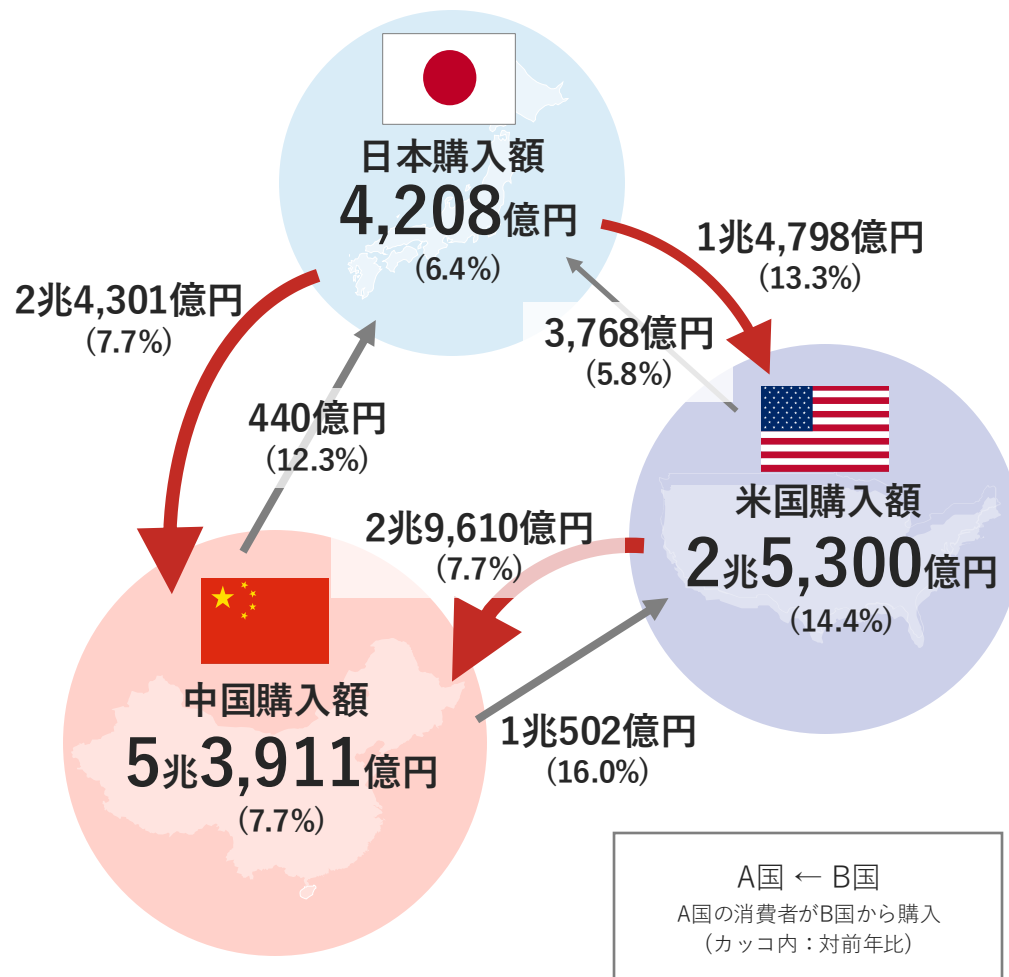


## 越境EC市場全体の成長予測



出所: Facts & Factors発表データをもとに作成

## 日本・米国・中国3カ国間の越境EC市場規模

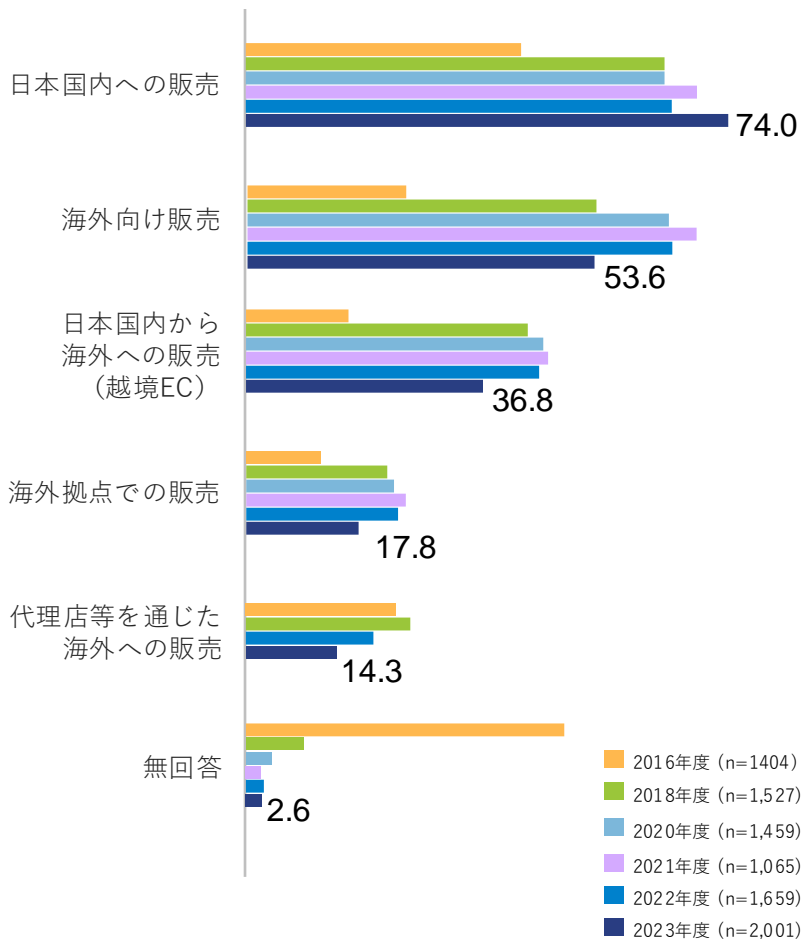


出所: 経済産業省 (令和6年9月) 発表データをもとに作成

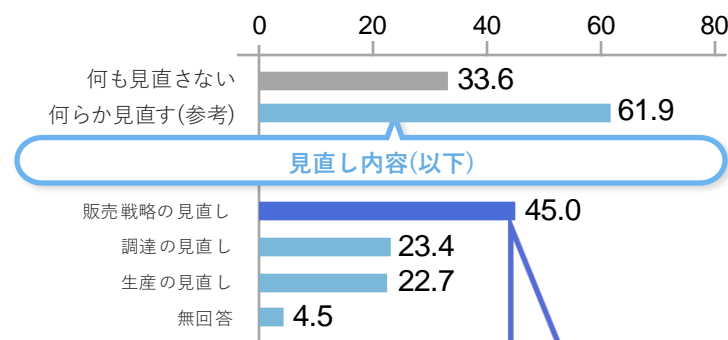
ECを販路として活用している日本企業のうち、36.8%が越境ECを活用している。

6割の日本企業が海外ビジネスの見直しを考えており、その内45%を販売戦略見直しが占め、さらにその28%が越境ECの強化を目指している。

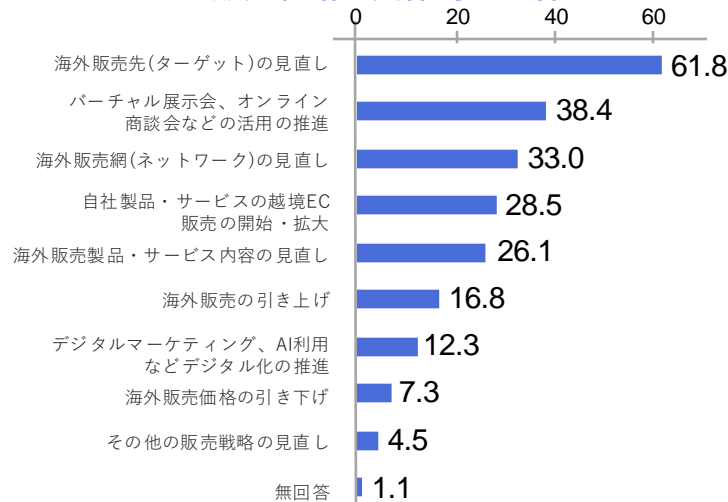
ECの利用状況（時系列）（複数回答，%）



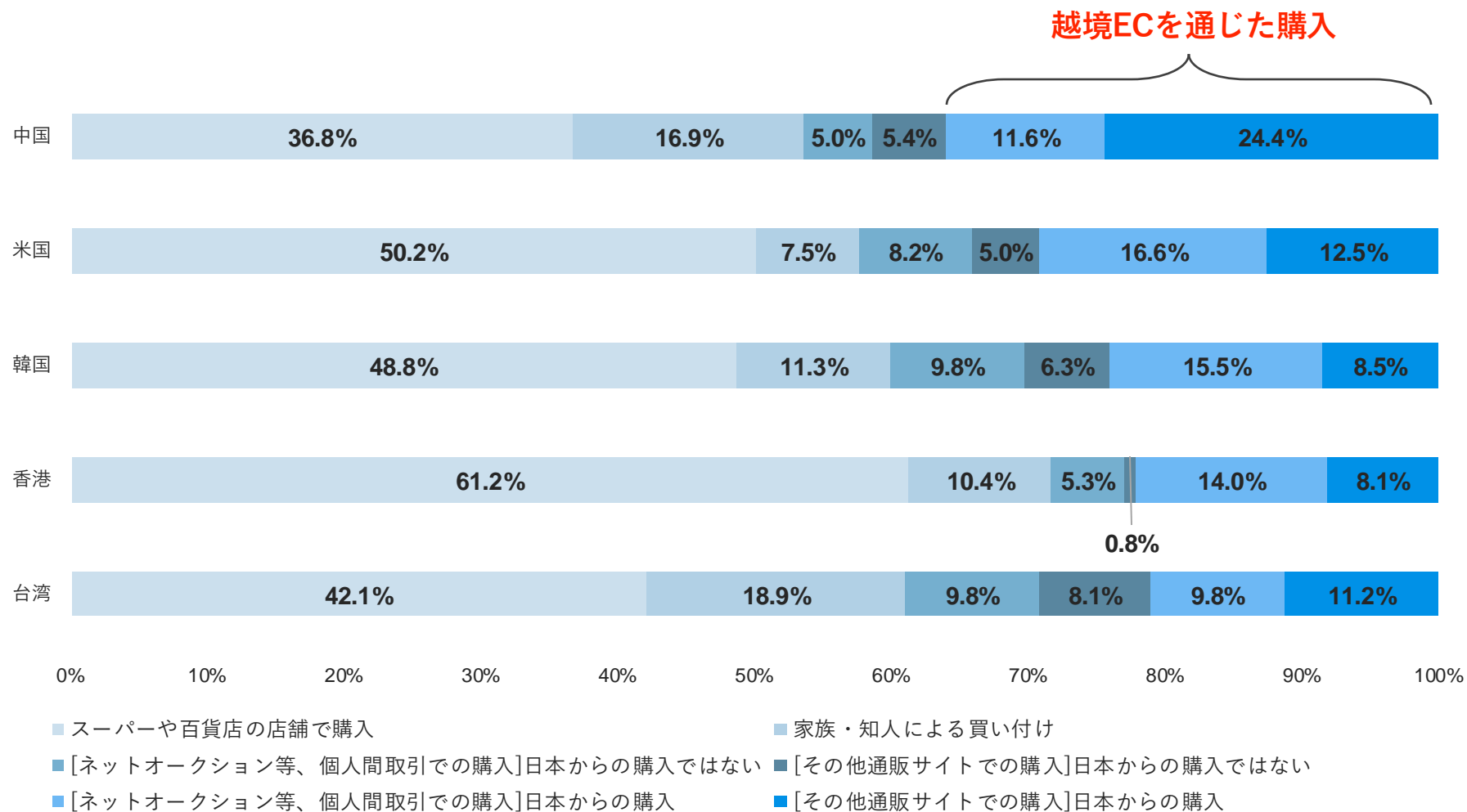
海外ビジネスの見直し方針と見直し内容



販売戦略の具体的な内容



## 日本製品の購買手段



出所：アンケート調査に基づき観光庁作成（2017）